ひだまり

まもなく開所10周年

編集元：
介護付有料老人ホーム
ひだまりの家
〒547-0025
大阪市平野区瓜破西３-11-1
TEL：06-6700-6900

日日新又日新

苟日新
日日新
又日新
（大学・伝二章）

苟（まこと）に日に新たに、日日に新たにして、又た日に新たなり。意味は、現状維持のまま留まるのではなく、毎日を新しい日として迎え、今日の言動は昨日の言動よりも道徳的に良くなり、その一日を意味あるものにして刷新、次の日には更に良くなっていくという形で進歩を間断なく試み、日々、精進努力をして、『昨日よりも良い・善い自分』を築き上げていくよう修養することが大切ということです。

これを山田無文老師は、「毎日新しい心で、ということは何にも一物も持たない心で新しい世界に触れていくならば、この世界は新しい。昨日の太陽が出ておるようだけれども、厳密に言うたら、あれだけ熱量を発散したら昨日の太陽と今日の太陽とは熱量が違うはずである。庭の草木を見たって、毎日朝顔のつるが伸びておる。昨日咲いた花は今日は咲かん。水の流れは毎日違っておる。自然の世界は毎日新しい。人間の心だけが古いところにこだわっておる。それが病気であります。自然だけじゃない、われわれの体でも新陳代謝して、昨日の細胞と今日の細胞とは違うのです。すべてが新しくなっていくのだから、心も新しくして、昨日のことは忘れて、昨日喧嘩したことは忘れて、昨日人を恨んだことは忘れて、憎いことも嬉しかったこともすべて忘れて、新しい心で今日を迎えていくということが、道というものであります。それが本当の人間の生き方であり、正しい生き方であります。」とおっしゃっています。

納涼祭り

八月一日、恒例「納涼祭り」を開催しました。新人紹介のあと、職員による「ラムネ早飲み競争」や、「キッズダンス」の演舞があり、大いに盛り上りました。「たこやき」に「おでん」、「やきとり」に「冷やしそうめん」「かき氷」など、手作りの出店も松原高校のボランティアの皆さんにお手伝い頂き、大繁盛でした。

松原高校の皆さん

新人紹介

キッズダンス

神祇工芸

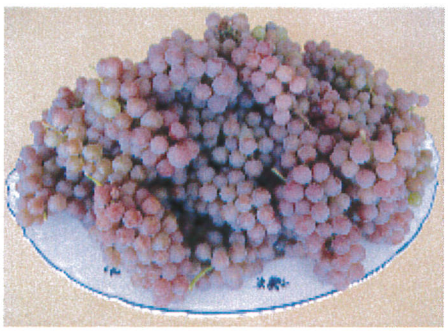
【六斎念仏の獅子】

八月は盂蘭盆の京都の景物、鉦や太鼓を打ち、念仏を唱え踊る六斎念仏に使われる獅子（一閑張）を展示しました。木型に和紙を何度も張り重ね、天火で何日も干し、仕上げたものです。獅子頭の中の紐を操作で口が開き、目が動きます。

出店の数々

ぶどう狩り

すっかり色づいた「ひだまりの家」産デラウェアを収穫しました。ジベレリン処理をしていませんので、種がありますが、とても甘いです。



お誕生日

おめでとうございます。

八月十三日
大森　トミエさん
（七夕の時のお写真です）